

令和7年度

このみ保育園 自己評価表

【評価 A：大変良い B：良い C：一部検討が必要 D：改善を要する】

実施日：令和8年3月

項目	内容	評価	特記事項
保育基本理念と保育実践	園の保育方針、保育目標を職員が把握できている	C	<ul style="list-style-type: none"> ・保育方針、保育目標を振り返る機会を作り、計画と実践の見直しを図る。 ・子ども一人ひとりの発育・発達を把握し、適切な関わりができるように、さらに深め実践していく。 ・保育士の自己評価が低かった。子どもの姿に注目し、発達に沿った意欲を誘う環境構成を常に意識する。環境構成を学ぶ機会を作る。
	子ども一人ひとりの人格を尊重し、主体性を大切にしたい保育をしている	B	
	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢や個々に留意した指導計画を作成している	B	
	指導計画に基づく実践を振り返り、評価し、その結果に基づき、保育の改善をしている	A	
	子どもが主体となって活動できる環境が整備されている	C	
	行事については、過去の評価や反省を反映した計画実施をしている	A	
家庭及び地域との連携・子育て支援	コドモンを利用して園の様子を伝えたり家庭での様子を伝えてもらったりし連携を図っている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との細やかな連携ができるように、コドモンだけでなく対面で丁寧に応じるように意識している。相談しやすい関係づくりを強化し、保護者の思いを把握できるようにする。 ・園庭開放の日数を増やし、地域の保護者への子育て相談の機会を増やし、継続的な支援体制を整備する。地域との関わりを広げていく活動を考えていく。
	懇談会や個別面談、個別相談を実施している	A	
	保護者アンケートを行い保護者のニーズ・意向の把握を行っている	B	
	地域の保護者に対する子育て支援をしている (子ども・子育てに関する相談・園庭開放等)	C	
	地域における連携・交流をしている (保健センター・こども家庭センター・他園との連携等)	A	
保育の実施運営・組織	各種会議を適切かつ効率的に進めており、会議録を全職員に周知し、職員間の共通理解に努めている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は定期的に行っているが、保育士自己評価では理解が低かった。マニュアルを見返す機会を定期的にする。避難訓練の反省を生かし非常時に落ち着いて対応できるようにする。
	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
	園児や保護者に関する個人情報適切に取り扱い、守秘義務の遵守を全員に周知している	A	
	苦情受付窓口を設置し、苦情解決体制が整っている	A	
	安全計画に基づいて、避難訓練、不審者訓練、交通安全指導等を行っている	C	
	事故を防ぐため、事故防止チェックリストや室内外の安全点検を行い、危機管理意識を高めている	B	
	職員の資質向上のため、園外研修、法人内研修の機会が確保されている	B	
	保育課題への共通理解や協働性を高め、園全体としての保育の質の向上にむけ、園内研究を行っている	B	

